# 5 群馬県立図書館

GUMMA PREFECTURAL LIBRARY

所在地/群馬県前橋市日吉町1-14-8

建築主/群馬県教育委員会

設計者/株式会社 岡田新一設計事務所

施工者/鹿島建設株式会社

池下工業株式会社

竣 工/昭和53年3月

Location/Maebashi City
Owner/Gunma Prefecture
Design/Shinichi Okada, Architect and Associates
Contractors/Kajima Corporation
Ikeshita Kogyo Co., Ltd.
Date of Completion/March, 1978

## 選評

内田祥哉 大高正人 伴野三千良

## **REVIEW**

Yoshichika Uchida Masato Otaka Michiyoshi Tomono 全体を見る眼が細部にまで行き届いている建築は少ない。全体の構想や空間構成が優れたものであっても、ディテールが支離滅裂でせっかくの建築がぼけてしまう例が多い。

これらに比べて群馬県立図書館は、全 体と部分の関連を厳密に追求し、例え ば、全体の内外装のタイル割りがすむま では, タイルと関連のある建物のどの部 分も、最終の決定ができないというよう な具合である。白いくすりかけの四丁掛 タイルを建物の全体に割りつけることは, 経験のある方はお分りいただけると思う が, そう簡単なことではない. センター ラインで建物の寸法を押えるように手軽 にはゆかないのである. その上,玄関ロ ビーや廊下の内装の一部にこの四丁掛の タイルが入りこんでくることになると、 仕事は一層複雑になる. 内のりと外の寸 法が入りまじり、サッシュなどの切断面 ができるので、厳密に割りつけることは 至難の技である. この建物は、割りつけ を徹底し、白いタイルの質感とあいまっ て,清潔な統一感を創造することに成功 している.この白い壁面には一定の間隔 でオーバーフローのデリケートな形の穴 があり、そこから壁を伝わる微妙な水み ちが壁の単調さを救っている.

このような白い壁の造形は、恐らく設計者の手練の術であると思うが、この建物で特筆すべきことは、八角形のコンクリート打放しの柱と角形の打放しの大梁による、力強い構造のシステムが、建物のもう一つの秩序を形づくっている点にある。設計者は、新しい創造の境地を開拓しつつあるように思われるのである。

このような建築の施工は、並の建築にはない神経の配りが心要である。近代化が進む過程では、機械で早くすんなりと施工することをねらうあまり、苦心してよい建築を創造する精神が失われることが多い、大工などの名人が少なくなりつつあるのもそのせいで、近代化が建築の喪失につながる恐れが多分にある。そのような時代の風潮の中にあって、かつてのすぐれた棟梁のように、複雑な寸法の

構成を難なくこなした施工者の技術と精 神を高く評価したい.

また,建築主である,群馬県当局の高 い見識についても言及しなければならな い. 前橋市内のこの地区は、早くから文 化センターとする方針をえて、すでに県 民会館を建設し、あわせて周辺の再開発 整備を進めている. ここに今回、図書館 と商工会議所会館が加えられたわけであ るが、県民会館に引き続いて図書館も同 じ設計者に依頼し, 商工会議所会館もそ の指導によって、地元の設計者が設計を している. 白を基調にする外装で三つの 建物を統一することができたのもその結 果であり、広場・道路・樹木・駐車場な どによってつくられる外部空間も, 品格 のあるものになっている.これらは、当 局の企画と指導と協力によって、はじめ てできることであり、街づくりに弱い日 本の現状からすれば、県当局の見識は高 く評価されなければならない.

Meticulous attention to the relations between the whole and the parts and details distinguish the Gumma Prefectural Library, For instance, during design, no related other parts could be fully determined until the proportions of the facing tiles for the interior and the exterior had been worked out. Covering a building entirely with tiles and evolving measurements for them in all parts of the exterior and some parts of the interior - lobby and entranceway - are difficult tasks. In this building, proportions of the tiles have been beautifully calculated to produce a clean, uniform. total white covering, Monotony is skillfully avoided by means of delicately designed rain overflow projections near the tops of the walls and strips of raised tiles forming grooves for the pasage of rainwater down the wall surfaces. The designers' sophisticated skill is responsible for this covering and for another order-giving aspect of the building's composition: a system of massive octagonal-section concrete posts and rectangle-section concrete beams, which suggest pioneering in new creative fields.

The successful completion of this building deserves special praise since it involved difficult construction techniques at a time when master carpenters are rare and when mechanization and industrialization lead architects and construction companies to strive only for the easy effects and to be unconcerned about the hard work of turning out a good product. Developments of this kind inspire concern that architects are becoming lazy and are losing the spirit and drive of their predeces-

sors.

The region in the center of the city of Maebashi where the library stands was long ago set apart as a culture center. The architectural organization responsible for the library designed the auditorium that predates it in this cultural region. The Chamber of Commerce, located in the same region, was designed by local architects under the guidance of the organization who produced the two others. For this reason, the exteriors of all three are uniform white. The outdoor zone created by plaza, roads, trees, and parking lot has dignity. In Japan today, when town planning is underdeveloped, the authorities of the prefecture deserve special commendation for the foresight, guidance, and cooperation that made this successful ensemble possible

# 概要

#### 建築概要

敷地面積 7,936m²

建築面積 1,856m²

延床面積 6,681m2

構造規模 鉄筋コンクリート造

地下1階, 地上4階, 塔屋1階

### 仕上げ概要

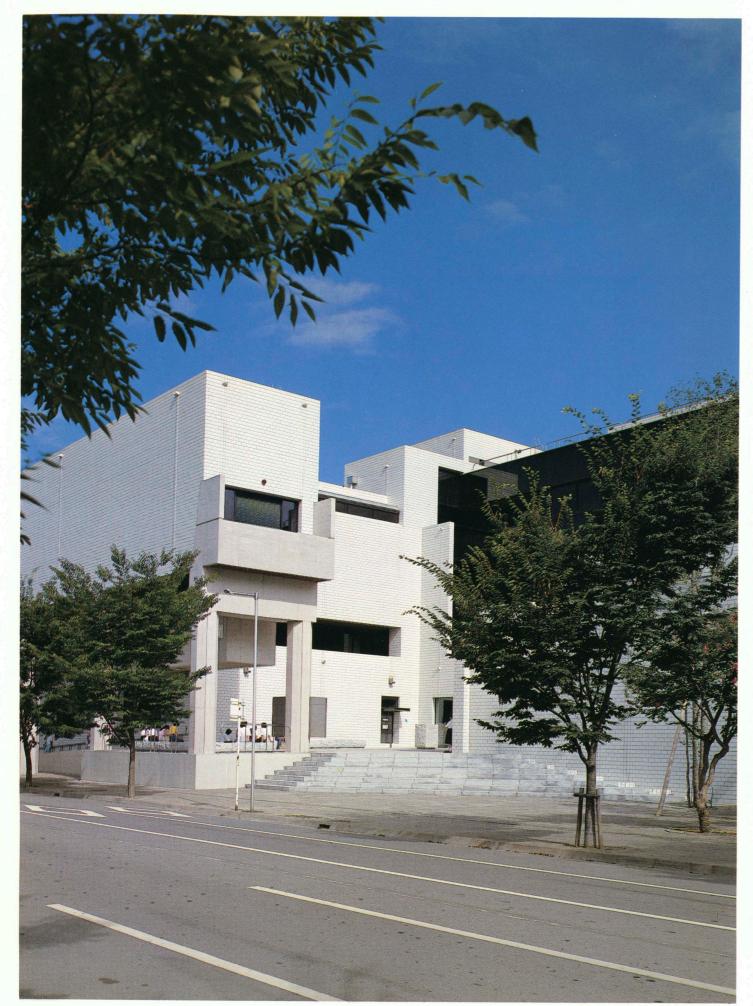
外装 屋根:アスファルト防水シンダーコンク リート押え、一部砂利押え 外壁:4丁掛磁器 質タイル(乾式) 建具:アルミサッシュ電解 2次着色

内装 開架図書室 床:ラバータイル⑦4.5mm 壁:磁器質タイル一部プラスターAEP 天井: 蛭石系吹付け材/3階ホール 床:ラバータイ ル⑦4.5mm 壁:木製吸音パネル一部モルタル AEP 天井:有孔難燃ベニヤ⑦60SCL/1階子 供相談室 床:ラバータイル4.5mm 壁:プラ スターAEP 天井:岩綿吸音板

#### 設備期里

空調 セントラル方式 開架室, 書庫系統: オールエア方式 (4系統) 事務室系統:ファンコイルエア併用 (1系統) / 熱源 冷凍機: 158.3冷凍t セクショナルボイラー1,034,000 Kcal/h 熱交換器806,000Kcal/h 各1基/排煙 一部機械排煙





正面アプローチ Main approach.



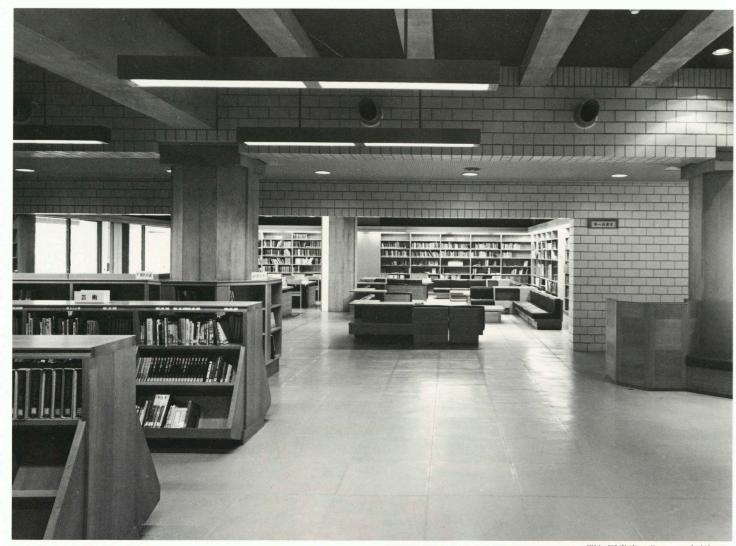
南東よりみる View from the southeast.



玄関ポーチ Porch.



左·群馬県立図書館,正面·群馬県民会館 Gumma Prefectural Library (left) and Gumma Prefectural Hall(front).



開架図書室 Open-stack library.



1 階目録コーナー Index corner.





3階ホール Hall on the third floor.



4階テラスより見おろす 正面は県民会館 View from the terrace on the fourth floor.

